

2022年9月6日

各 位

会 社 名 株式会社トラス・オン・プロダクト  
 代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 藤 吉 英 彦  
 (コード番号6696 東証グロース)  
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 青 柳 貴 士  
 電 話 番 号 045-595-9966

### 通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年3月14日に公表いたしました2023年1月期（2022年2月1日～2023年1月31日）の業績予想を修正いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 2023年1月期の通期業績予想値の修正（2022年2月1日～2023年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年3月14日発表）	百万円 480	百万円 △23	百万円 △44	百万円 △44	円 銭 △12.15
今回修正予想（B）	518	△15	△23	△23	△6.38
増減額（B－A）	37	7	21	20	
増減率（％）	7.8	—	—	—	
（参考）前期実績 （2022年1月期）	404	△356	△365	△517	△140.38

※1株当たり当期純利益は、2022年8月末時点の期中平均株式数を用いて計算しております。

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、受注型 Product 事業において、第1四半期では前期からのサーバー納品期ずれ案件22百万円も堅調に着地し、前期より進めていた既存の顧客様からの STB 大型受注案件67百万円が売上高に大きく貢献いたしました。当第2四半期においては、半導体不足の影響により一部50百万円規模のサーバー納品案件が第3四半期以降にずれ込む見込みであるものの、下期において確実な納品につなげると共に、既存の顧客様からの STB 受注案件を中心に、更なる受注獲得を目指すことで、受注型 Product 事業の売上高は当初計画を超え306百万円となる見込みです。

TRaaS 事業においては、サイネージ案件は当初の計画どおり堅調に推移しており、成長方針に掲げる今まで培ったモノづくりを基盤に、お客様の悩み・課題からワンストップで自分達しかできないサービスとしての技術価値 (TRaaS : Technology Reward as a Service) を提供する方針の元、第 3 四半期以降は、当社製品群の中でも特に AIrux8 (AI による電力コスト削減システム) に注力し、更に当社製品群の実証実験やデータ分析を実施し新規顧客の獲得を目指してまいります。一方、美容サロン向けサイネージビジネスでは、継続して広告主の投稿意欲回復までに想定以上の時間がかかっており、当初計画を下回って推移していることから TRaaS 事業の売上高は107百万円となる見込みです。テクニカルサービス事業については、当初計画どおり堅調に推移しており、売上高は104百万円となる見込みです。

上記の要因により、売上高は当初の計画から37百万円増加し、利益面では、上記売上高の積み上げによる粗利益増加に加え、前期からの固定費削減施策と共に業務効率改善の徹底により、販売費及び一般管理費が当初計画を下回る見込みであること、また、当初見込んでいた2022年5月に実施したファイナンスに関する費用が当初計画を下回ったことから、本年3月14日に公表いたしました2023年1月期の通期業績予想数値を上表のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上